

自分が決めて・自分で変わる

令和8年 2月25日
「学び」便り No.5
日光市立今市第三小学校

第2回 「家庭学習達成週間」 を終えて

このおたよりは、本校の学習指導を御理解いただくとともに、お子さんの学力の向上を御家庭とともにめざすために発行していきます。



向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。今年度も、あと1ヶ月となりました。もう次年度に向けての準備の月です。

さて、昨年度11月に実施しました日光市総合学力調査をめぐりに取り組みました家庭学習達成週間ですが、少しずつ家庭学習に計画的に学習をしているお子さんが少し増えてきました。また低学年でも「45分」「1時間」と学習しているお子さんもいました。しかし、高学年であっても「15分」「20分」しか家庭学習に取り組みないお子さんも多いのも事実です。長くやれば良い訳ではありませんが、高学年の内容になると、ある程度の時間は必要になります。やはり、学習時間が短いお子さんは、目標点数に届かなかった子が多く見られました。内容も、「eライブラリ」や「音読」が多く見られました。「eライブラリ」だけではなく、苦手な問題は教科書の問題を解いたり、授業のノートを見直して復習したりと自主学習帳を活用するのも有効です。学習の仕方を固定せずに、いろいろな方法で取り組んでみるのも良いかと思います。

自分は「何が得意なのか」「何が苦手なのか」を自覚することが大切です。テレビ番組で見られる「博士ちゃん」と呼ばれるお子さんのように、得意なことや、好きなことを極めるくらい調べたり、それを何かにとまとめたり、話したりすることで知識を確実にしていくようになればとても素晴らしいと思います。かといって苦手なことに目を背けずに、トライしていくことも大切です。分からなかったら先生、友達、家族等にきいてできるようにしていく方法をとることも大切です。小・中学校の学習内容は、基礎・基本の内容です。土台をしっかり固めていけば、上には立派な物が積み重ねられると思います。保護者の皆様と協力して、しっかりした土台が築けるよう励ましていければ幸いです。

毎日大変だったけど、テストの点数がよかったのでうれしかった。

毎日べんきょうをして、おうちの人に「がんばったね。」とほめられてうれしかった。

目標点数がとれるように、苦手な問題をやったらできるようになった。

目標点数まで届かなかった。もう少しがんばればよかった。



勉強をしなかったの
で、目標点数はとれませんでした。